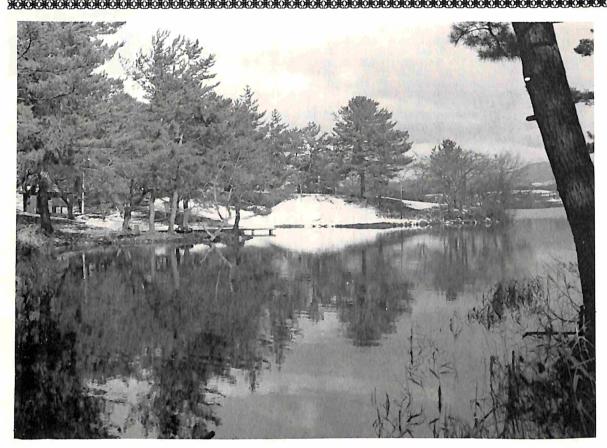


発 行 青森県金木町役場

編集 企 画 室

昭和55年1月号



## **《注意**

町議会

議副議教収助町 。議育入 員長長長役役長

成田今大木中沢花白沢伊吉成吉沢其古加竹野中木古大田中 橋村谷田田川田藤崎田田田田川藤内宮谷村川橋 久勇不 金 清勇米五二 甚竹政清正善米由豊哲卓武雄四金竹忠 明吉雄郎男正茂市治孝慈光蔵逸男一雄爾六造郎利夫勝

(1

第 169 号

#### 金 木町長 大橋 忠 勝

い年でありま ければならな しを樹立しな 十年後の見通

ますよう、謹んでお祈り申 にとって恵み深い年であり るに当たり、 上げます 昭和五十五年元旦を迎え 金木町と町民

減反数量消化の見通しこそ とも五十七年度以降の割当 開発が必要であり、 す。ステビアハトムギ・ア 大事であります。 ポリオの試作、 特産物の 少なく

の上は、 あります。 強力で有効な施策が必要で 当町商工業が萎縮せぬよう ネルギー不足の時代を迎え いものがあり、特に建設製 工業に係わる事業所数七十 造に係わる事業所数百三十 、年間万単位の外来客を の現況にありますが、 商工業に於ては電話普及 純生産額等に目覚まし 共に県下全町村中随 いよいよ長期的エ

の遊歩道 湖岸をグルリ一周、桜並木 路)を通す。 ③つり橋~対岸~「あしの たが、 初年度。沿道の県道「青森 くりが必須であります 大橋」~賽の川原。 辺沼地の整備、植樹をする 住者全員の立退きが決定し ②芦野公園整備――去る十 ①「ばんえい競馬場」造成 二月三日和解成立、園内居 **〜金木道」舗装化陳情。** 今後三ヵ年計画で周 アスファルト道 将来は

知し、今こそ を誤りなく察 政の歩む方向 町は今後の国

れている現公園を一園化す ④動物園の移転。 (6)赤坂~湯の川バイパスを 有料化。 陳情する年。国道で二分さ 大規模、

(1)老人ホーム、集会所の新

不在者投票は、

二月四日

⑦町民挙げて、 期し、施設充実に努める。 8次の観光ルートの確立を 堂の新築を実現する年。 完了する年 植物園(フィールド・アス レチック)~大倉岳 回芦野公園~賽の川原~ の沢冷泉~小田川ダム (1)競馬場~観光牧場~湯 賽の川原御 <sub>山</sub>

> 9全国有数ナイタースキー ウェイの整備 底部、対山の工事、 場として、嘉瀬スキー場の 二、教育熱心な、 住みよい ローブ

交通事故から、 (3) 芦野グランドの整備 (2)職業訓練所拡充への助成 ① 遮断機設置·電柱移転等 給食施設の新築。 ①第三保育所、川倉小学校 町民憩の森、建設計画。 中学校建設の他、 化の年。三十九町歩に金木 ⑩弘大農学部用地返還具体 日の悲願達成する。 無死者一千 運動公園

20鳴戸橋、 18消防署の移転新築。 16商工会館建設への助成 移転、新設。 17金木病院新築初年度。 19ゴミ捨て場 補修。 神田橋の改築初 (火葬場) の

⑥あらゆる必要道の舗装を

年度。

票して下さい。

大事な選挙です。

# 町づくり。 2 月 11

が持てなくな

った現在、当

づくりに希望 にとって、米

さて、農業

温泉のある観光の町」

二月十一日が投票日となり 挙は二月四日に告示され 満了となり、これに伴う選 二月二十九日をもって任期 金木町議会議員は、この 不在者投票は

させるための代表者を選ぶ みなさんの声を町政に反映 必ず投票して下さい。 となっています。 時三十分から午後五時 まで で、不在者投票を利用して いる方がかなりおりますの より二月十日まで、 出稼ぎなどで町を離れて 午前八 町民

投票をするための請求は なるべく本人または家族 また、出稼ぎ先で不在者

迎える当町は、

「太宰の町

うお願いします。 者が行い、投票者の住所を 挙管理委員会へ提出するよ はっきりと確認してから選

二月四日から

投票

となっており、このうち一 では、 事務に混乱を及ぼしており により投票されています。 ますので、 たものも五十枚以上もあり 千四百十八票が不在者投票 八日執行の町議会議員選挙 前回、 しかし、重複で請求され 投票率九十二 · 五六% 投票総数九千百十五 昭和五十一 くれぐれもご注 一年二月



間議員

一同微力ながら、円

うとしておりますが、その

任以来早や四年を経過しよ

昭和五十一年三月議長就

### 昭和五十五年の年頭に当 囲丁 議 会 野 雄長 の意を表する 次第でありま

DOODDOOD AND DOOD AND DOOD THE PROPERTY OF THE

造 と心から感謝 力の賜である ご支援とご協

えることができましたが、 まして、大過なく新年を迎 であります。おかげをもち 力を傾注して参ったつもり ため、誠心誠意、懸命の努 滑な議会運営と町政発展の

これもひとえに町民各位の

より、 産油国の原油 輸出引締めに かえりみますと、昨年は 石油価格が暴騰し関 連製品が値上

民のみなさん、明けまして

いさつを申し上げます。町

まして、謹んで新年のごあ たり、金木町議会を代表し

強いられる事 国民にとって がりするなど 苦しい生活を 態に明け暮れ ますます

> リュウマチなどに効果があ アルカリ性で特に神経痛

し水量は十分。成分も弱

閣に一ヵ月もの日数を要し と思います。 ŋ ようやく国会が開かれると 選挙が行われたものの、組 農作物はまずまずであった たものの水稲を始めとする に発生した台風二十号によ た。わが町としては、十月 という慌しい年でありまし 一部リンゴに被害があっ 衆議院の解散による総

新築工事、農免農道整備事 として、老人福祉センター 業等があり、また新規事業 の主なる事業を列挙します 間に四百十九リットルも噴 度とやや低めなものの一分 温泉が湧出 は我が町が待望久しかった 設される老人福祉センター 特に川倉賽の川原付近に建 架設工事等が始まりました。 建設事業、芦野公園のつり橋 昨年行われました我が町 継続事業の統合小学校 温度は三十八

> 挙げられますが、 としてばんえい競馬事業が 催されますと、当地方の畜 ております。 産振興そして出稼ぎ解消の 助になるものと期待され これが開

迎えるに当たり、町民各位

こに希望にあふれた新春を

お祈り申し上げます。 のご清福とご繁栄を心より おめでとうございます。こ

取り組み、八十年代といわ 名実ともに内政の要となっ と存じますと共に議決機関 う努力する決意であります 町民各位のご期待に添うよ 正に町民の信託に応え、町 しても、 たる我々町議会といたしま て邁進しなければならない れている新しい年に向かっ て豊かな地域社会の建設に いご指導とご協力を心から これからの地方自治体は どうか町民の皆様の温か 願い申し上げまして新年 の諸問題を慎重に審議し 本年もまた終始公

のご挨拶といたします。

にお尋ねください。

お

# 税

## 所得税 贈与税 申告始まる

はできるだけ早く済ませる 間近になりますと税務署は 月十五日が期限です。期限 二月十六日からそれぞれ受 から、所得税の確定申告は ようにしてください 付けが始まり、どちらも三 大変混雑しますので、 所得税の確定申告をしな 贈与税の申告は 二月 申告 Н ています。 は、一月からすでに受付け で還付を受けるための申告 万円を超える人などです。 申告書を書くときには また、住宅取得控除など

ければならない人は ②サラリーマンで、二ヵ所 昭和五十四年中の所得の合 ①事業をしている人などで 人や給与以外の所得が二十 以上から給与を受けている 控除の合計額より多い人、 計額が基礎控除などの所得 寄りの税務署や税務相談室 ません。財産の評価額など 場合は申告しなければなり の価額が六十万円を超える お分りにならない点は 中に個人からもらった財産 得税の確定申告の手引き」 面から記入すれば簡単です を参考にして、申告書の 申告書の書きかた」や 贈与税は、昭和五十四



られる事と思います。

その他、

特筆すべきもの

成を首を長くして待ってお 人余のお年寄り達がその完 ると伺っており、町内二千

## 九八八 世界農林業 センサス

3力をお願いいたします。 調査員が農家を調査に行きますので、二月一日現在で調査が行われます。

協

#### 田丁 話 題

ありました。 本赤十字金木分区へ寄付が カンボジア難民への救援 次の方々から日

〇伊丸岡浅五郎さん 人会 (三万円)

あ

福祉協議会へ寄付があり

ました。 0その 〇金木町民生委員協議会 ご協力ありがとうござ 他 (三千六百七円) 万六千二百円

い資金として、 次の方々より歳末たすけ 金木町社

ました。 〇伊丸岡 浅五郎

スデーで得た利益の

崎正さん

か

++

村平田山

子一

敬幸

金五

木市

所

(二万五百 二十八円) 年生一同 (二万円) 三万百七十七円を、

十四

万三千四

旨円

金木南中学校

協力を感謝いたします 色 同 ました。 念事業の一環として百万円 せていただきます。

それぞれ町に寄付され

社会福祉関係に使

さん

軽信用金庫

後藤元太郎

からは三十周年記

モンクラブ (代表 がとうございれせていただ

理事長)

〇金木ゴルフクラブ一 0

金木レ

ご結婚 -おめでとう

珍長 田尾

タ正 ク保

(佐康)

神

助

む

う原

遠木

山村

澄武 子美

初七

子郎

宮崎 県木

浅瀬石

さゆり

(武美)

喜良 嘉

田

金 金

木 木 市 阿部美奈子

昭治

 $\coprod$ 

樹里

(孝人)

学

蒔

 $\mathbf{H}$ 

澤田 尾野

(亨逸)

(則次) 康雄

木

雄亮 千秋 文則 幸子

港

(秋夫) (博章)

> 藤元せ い亮 子悦 兼文 次郎

佐秋 里瀬

今白 Ш 悦光 子正 憲兼 太郎  $\mathcal{T}_{i}$ 所川 市倉 秋棟

ご誕生

おめでとう

弘初 子男 (文三郎) 弘 弘 弘 前 市 古外 川崎 田芳 公 美 夫 妻 夫 弘子正

西松 村橋 工奥 工藤せつ子の子 n い隆子雄 則 (イ) イ) サ利 (石文雄) (幸雄) ヲ則 喜弘 良前 市市 喜五良所 藤中 大型 技町 गंगं 会鳴田海 秋斉 鎌中 元イツエ 清治 田原 いち務 智真 子也 ちみ(清か 善次 元ア 寅律 八サ 吉雄 神

澤野田宮

朋 美 猛 千一

昇 伸治

川村

健治

月分)

角田

工藤 加藤 其田 荒関

裕子

(義昭)

金

木

金 嘉 金 嘉 金

木 瀬 木 瀬

山口恵利花

喜良市

津菅島原

金

 $\mathbb{H}$ 

(孝行 (省逸)

荒澤 関田

純弘 子二

(哲次郎)

五 所 嘉 市 瀬

Ŧī.

圭吾 旬人

(英治) 卓

平山

木 木 木 木

元松 木川 由

美忠

良テ

明ル

弘嘉 前

市瀬

宮対

本馬

裕純 子一

昭友

木黒 造石 町市

角工

田藤

憲治

子(良大

逸郎

金深

北浦 木町

嘉鶴

瀬町

H

金川川川嘉

木倉倉倉瀬

亩 (光則

光

金 嘉 金 金 金 金

木 瀬

上村 野田

マ均

(七代作)

中金

町木

成白

田戸

富世子

一粒

中車

-柏力 木村

藤藤

達弘男

富

成郎

五金

市木

所

子

吉 夫

里.

B

中谷

健 (栄之進)

 $\mathbf{H}$ 

ÎĒ 守

幸

浜山

田中

理誠

定雄

嘉嘉

瀬瀬

宮岡本田

寿義

雄直

北喜良

道市

(古川京子

清久

郎郎

喜青良森

田 滝

藤枝

7 月 分

鈴伊 木藤

優淳 子一

定満

五男

嘉川倉

倉瀬

| 芦工田藤

睦子豊

( 蔵 と 助 郎

喜車 良市村

郎

子(實)

之助 五 五 丁

所嘉

市瀬

( 今 正 一 工 一 一 工 一

子寬

喜茨 良城 市県

三成 田熊 潟田 子爭 清定) 川)名古 倉市 久 美政 子寬 諭良 雄

中谷 郁正 子夫 写证 t 郎 14 金形 木県 照荒 井井 恵裕 子雅 寿繁 英雄 福岡 中柏木 七藤 町枝

おくやみ

申しあげます

町の人口と世帯数 291人 人口〈 女 7,481人 計 14,772人 3,920世帯 (S54.11.30現 世帯数 30現在)

五喜田! 子 三郎 千金 葉 前 市木

(津島菜 今工 藤 黒田 中川 奈弘 幸京彦 由 美光 子男 字 〔 ② 又三 慶三治郎 (忠司) 健勝 一男 弘金 中喜里良 喜東 良京

町市

伝法 阿部 奈良 白川 鎌 長 今  $\Pi$ 大橋 中美代 瀬  $\Pi$ 尾 畄 谷 石 き 清吉 サン 芳市 喜子 多市 義 よね あ フミ 秀雄 せ 昭 ね 司 7 75 82 68 32 84 55 78 88 66 72 65 月 中嘉 喜良 喜良 金 嘉 金 Ш 金 金 金 分 柏木 良 त्ता 木 瀬 瀬 巾 木 市 倉 木 木 木

東嘉 京 都瀬

嘉奈川

瀬県

市都